

Genie®

操作説明書
安全説明付き

Second Edition
Fifth Printing
Part No. 43648JA

S™-60
S™-65

Genie® S-60
Genie® S-65

重 要

本機械を操作する前に、操作説明書の中の安全規則と操作指示をよく読み、理解し、従ってください。
トレーニングを受け認定された担当者のみ機械を操作することが許されています。本説明書は機械の一部とみなされ、常に機械と一緒に置かれていなければなりません。質問がございましたら Genie Industries までご連絡ください。

目 次

	頁
安全規則	1
操作	7
操作前の点検	10
安全確認	12
機能テスト	16
作業場の点検	21
操作手順	22
輸送	25
ステッカー	26
仕様	28

連絡先：

インターネット: http://www.genielift.com
e-mail: techpub@genieind.com

Genie Industries

著作権 © 1997 by Genie Industries

初版： 初回印刷 1995年1月
第二刷 1996年1月
第三刷 1996年10月

第二版： 初回印刷 1996年11月
第二刷 1997年3月
第三刷 1998年3月
第四刷 2000年2月
第五刷 2000年7月

「Genie」は米国 Genie Industries およびその他の国における登録商標です。
「S」は Genie Industries の商標です。

♻ 再生紙使用 L

Printed in U.S.A.

安全規則



危険

死亡事故や大けがにつながりますので、本説明書の操作指示と安全規則に従ってください。

以下の場合を除いて操作は行わないでください：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施している。

1 危険な状態を避けている。

次のセクションに進む前に、安全規則を知り、理解する。

2 常に操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用している。

☑ 下記をよく読み、理解し、従っている：

製品使用説明書と安全規則 － 安全マニュアルおよび操作説明書と機械ステッカー

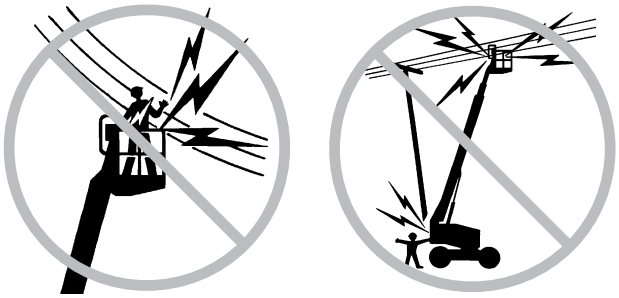
従業員の安全規則と作業場所の規制

☑ 安全な機械操作のための適切なトレーニングを受けている。

安全規則

感電の危険

この機械の電気は絶縁**されていない**ため、電流に接触したり近づくと危険です。



適用する行政の規制および次の図に従って、電線や機械から安全な距離を保ってください。

電圧 範囲	安全上の最小の 接近距離 メートル
0 ～ 300V	接触を避けてください。
300V ～ 50KV	3.05
50KV ～ 200KV	4.60
200KV ～ 350KV	6.10
350KV ～ 500KV	7.62
500KV ～ 750KV	10.67
750KV ～ 1000KV	13.72

作業台の動きや電線の揺れ・たわみを考慮にいれ、強風・突風に注意してください。

機械が通電している電線に接触している場合、機械に近づかないでください。地上もしくは作業台の従業員は、通電している電線の電気が止められるまで機械に触れたり操作しないでください。

雷や暴風のときは機械を操作しないでください。

機械にアースを接地しないでください。

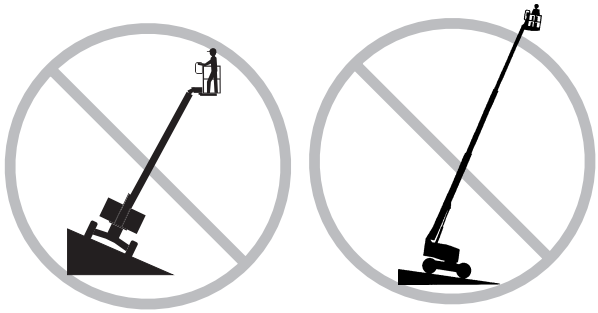
転倒の危険

作業員と装備の重量は、作業台最大積載荷重量を超えることはできません。

作業台最大積載荷重量 S-65	227 kg
作業台最大積載荷重量 S-60 2.3 m 作業台付き	227 kg
作業台最大積載荷重量 S-60 1.7 m 作業台付き	272 kg
作業台最大積載荷重量 S-60 フォームタイヤと 適切な仕様のカウンターウェイト 付属の 1.7m 作業台付き	340 kg
最大作業員数	2

安全規則

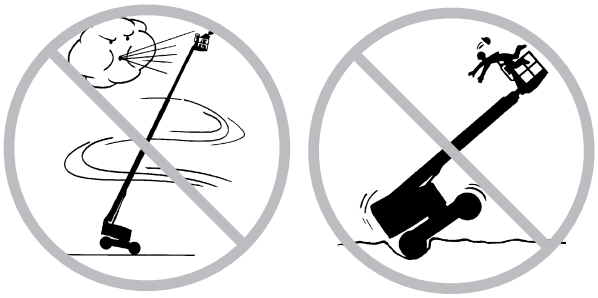
機械を固い水平な地面に設置している場合以外はブームを上昇もしくは伸長しないでください。



傾斜アラームを傾斜表示器として使用しないでください。傾斜アラームは、機械が急な斜面にある場合にのみ作業台内で鳴ります。

傾斜アラームが鳴った場合：
ブームを水平より高く伸長、旋回、上昇させないでください。作業台を上昇する前に、機械を固い水平な地面に移動してください。作業台が上がっている状態で傾斜アラームが鳴った場合、細心の注意をはらってブームを収縮し、作業台を下げてください。下げている途中でブームを旋回しないでください。作業台を上昇する前に、機械を固い水平な地面に移動してください。

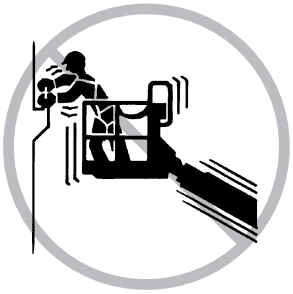
強風や突風の中で機械を操作しないでください。 作業台の表面や積載床面を大きくしないでください。風にあたる面積が増えるにつれて機械の安定性が減少します。



収納された位置から、平らでない、障害物のある、安定していない、または滑りやすい場所を通って機械を走行しているとき、またくぼみや急に低くなっている場所の近辺で機械を走行しているときは、細心の注意をはらうとともに、機械を減速してください。

水平でない不安定な地面、もしくはブームを上昇または伸長するには危険な他の状態、またはその近辺では、機械を走行しないでください。

作業台の外の物体を押したり、引っ張ったりしないでください。



最大側方圧力 − ANSI/CSA
667 N

最大外圧力 - CE
400 N

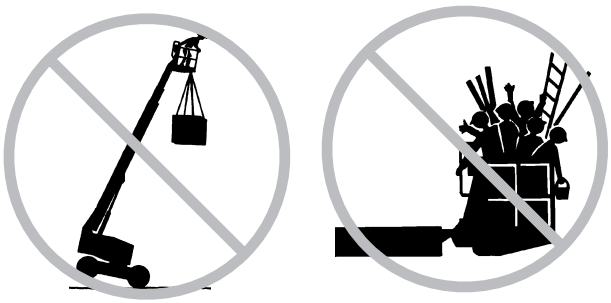
安全性と安定性に何らかの影響をあたえるため、機械の部品を改造したり使用不能にしないでください。

機械の安定性に重大にかかわるものを、重量や仕様の異なるものと取り替えないでください。

高所作業台を変更したり改造しないでください。道具を収納するための留め具や他の用具を作業台、踏み板、もしくは手摺りのシステムに取り付けると、作業台の重量や、作業台や積載床面の表面を増大させます。

安全規則

突き出した荷を、本機械のどの部分にも置いたり付けたりしないでください。



作業台にはしごや足場を置かないでください。また本機械のどの部分にも立てかけないでください。

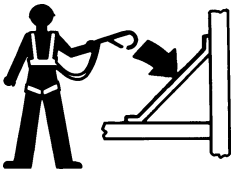
機械を、動いているか移動可能な面、もしくは車両上で使用しないでください。

すべてのタイヤの状態が良好で、空気タイヤには適切な量の空気が入っており、ラグナットが適切に締められていることを確認してください。

最大積載重量が 340 kgのモデル：空気タイヤを使用しないでください。これらのモデルにはフォームタイヤが付属しています。タイヤの重量と適切なカウンターウェイト構成は、機械の安定性の維持に大きくかかわっています。

何かの間に挟まったか引っ掛かった、もしくは近くの建造物によって通常の運行を妨げられた作業台を解放する目的で、作業台操作を使用しないでください。地上操作を使用して作業台を解放する前に、すべての作業員は作業台から移動しなければなりません。

落下の危険



適用する行政の規制に従って、作業員は安全ベルトやハーネスを着用しなければなりません。荷締めを作業台の錨に取り付けてください。

作業台の手摺りに座ったり、立ったり、上ったりしないでください。作業台の上ではしっかりと足場を確保してください。



作業台の上昇中は作業台から降りないでください。

物の破片を作業台のそばに置かないでください。

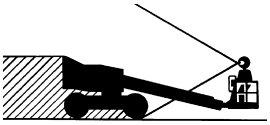
操作前に、作業台出入口中間レールを下げるか、もしくは出入口ゲートを閉めてください。

人体への傷害の危険

オイルや空気が漏れている状態で機械を操作しないでください。空気や作動油の漏れは、皮膚に飛び散ったりやけどの原因となります。。

一酸化炭素中毒を避けるため、常に、よく換気された場所で機械を操作してください。

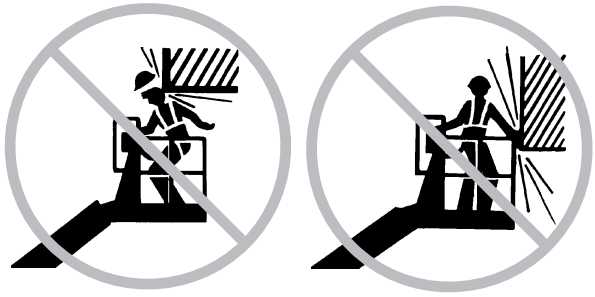
衝突の危険



走行または操作中は、視界にかぎりがあることや、死角に留意してください。

ターンテーブルが旋回しているときは、ブームの位置と後方車体の揺れに注意してください。

作業場において、頭上に障害物もしくは他に危険なものがないかどうかチェックしてください。

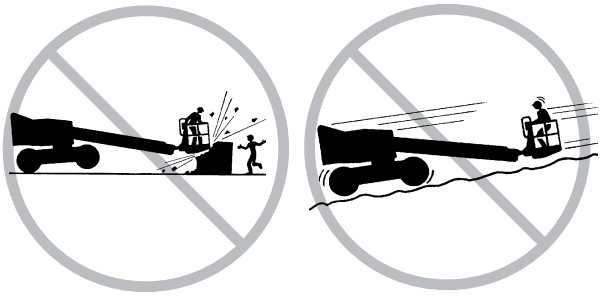


作業台手摺りをつかんでいるときは、手にケガをしないよう注意してください。

従業員が機械の操作時に認可されたヘルメットを着用してください。

作業台操作と走行シャーシにある色別された方向矢印をよく見て、走行・ステアリング機能に利用してください。

ブームの下に人がいないか、また障害物になるものがないかを確かめずに、作業台を下げないでください。



地面の状態、まわりの混雑の具合、傾斜、人の位置、また他の衝突の要因となるものによって、走行速度を制限してください。

あらゆるクレーンもしくは頭上を移動する機械装置の軌道上においては、クレーンの制御がロックされ、さらに衝突を防ぐための予防措置がとられていない限り、ブームを操作しないでください。

機械の操作時は、無謀な走行をしたり、むやみに騒いだりしないでください。

部品の損傷の危険

エンジンのジャンプスタートに、12 ボルトより高いバッテリーもしくは充電器を使用しないでください。

機械にアースを接地しないでください。

エンジンをスタートする前に、作動油停止バルブ(作動油タンクのそば)が開いていることを確認してください。

安全規則

爆発と火災の危険

LPG、ガソリン、ディーゼル、または他の爆発性物質の臭いがするか、もしくは検知したときは、エンジンをスタートしないでぐださい。

エンジンが動いている状態で、燃料を補給しないでください。

燃料の補給とバッテリーの交換は、火花、炎、または火のついたタバコのない、広々としてよく換気された場所でおこなってください。

危険な場所や、可燃性または爆発性ガスもしくは微粒子が存在する場所では、機械を操作しないでください。

機械の故障の危険

故障や誤作動している機械は使用しないでください。

シフトの前に、機器の操作前の点検を完全に行い、すべての機能をテストしてください。故障もしくは誤作動している機械は、直ちに故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。

本説明書と Genie S-60/Genie S-65 **サービスマニュアル**に記載されているすべての安全規則を必ず行ってください。

すべてのステッカーが適切な位置にあり、文字が読めるかどうかを確認してください。

オペレーターの安全と責任に関するマニュアルが完備され、読める状態で、作業台の上のマニュアル保管場所に置かれているようにしてください。

ステッカーの説明

Genie 製品ステッカーは識別しやすいよう、下記のようなシンボル、色別コード、合図表記語を使用しています。



安全警報信号－作業員にケガの危険があることを知らせます。ケガや死亡事故の危険を避けるためにすべての安全警告に従ってください。

⚠ 危険 赤－差し迫った危険があることを示します。この危険を回避しない場合は重傷を負ったり死亡事故の原因になります。

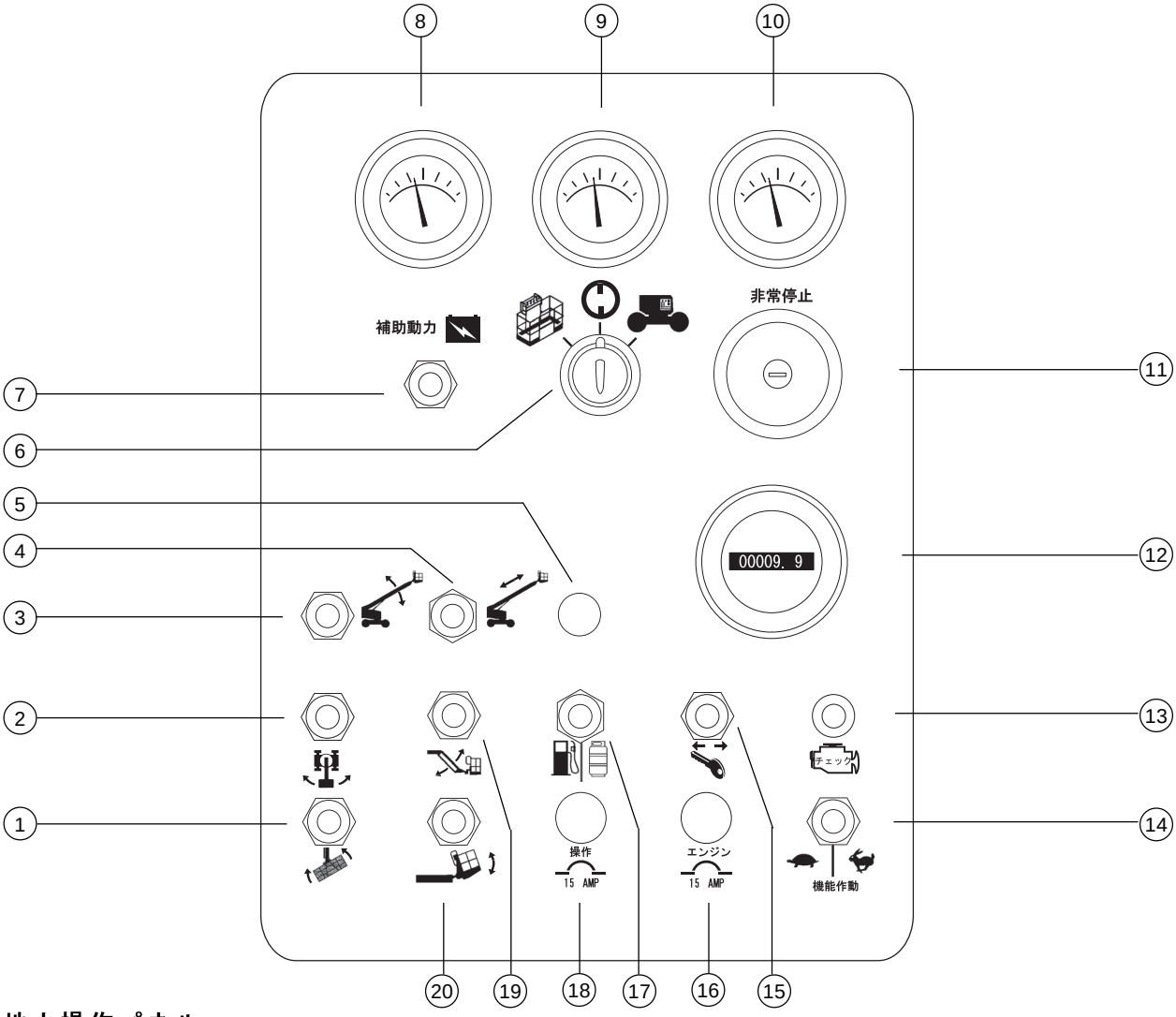
⚠ 警告 オレンジ－危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は重傷を負ったり死亡事故の原因になります。

⚠ 要注意 安全上の警告シンボルを伴った黄色－危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は小さなケガから中程度のケガを負うことがあります。

要注意 安全上の警告シンボルがない黄色－危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は機械が故障することがあります。

注意 緑－操作情報または安全情報を示します。

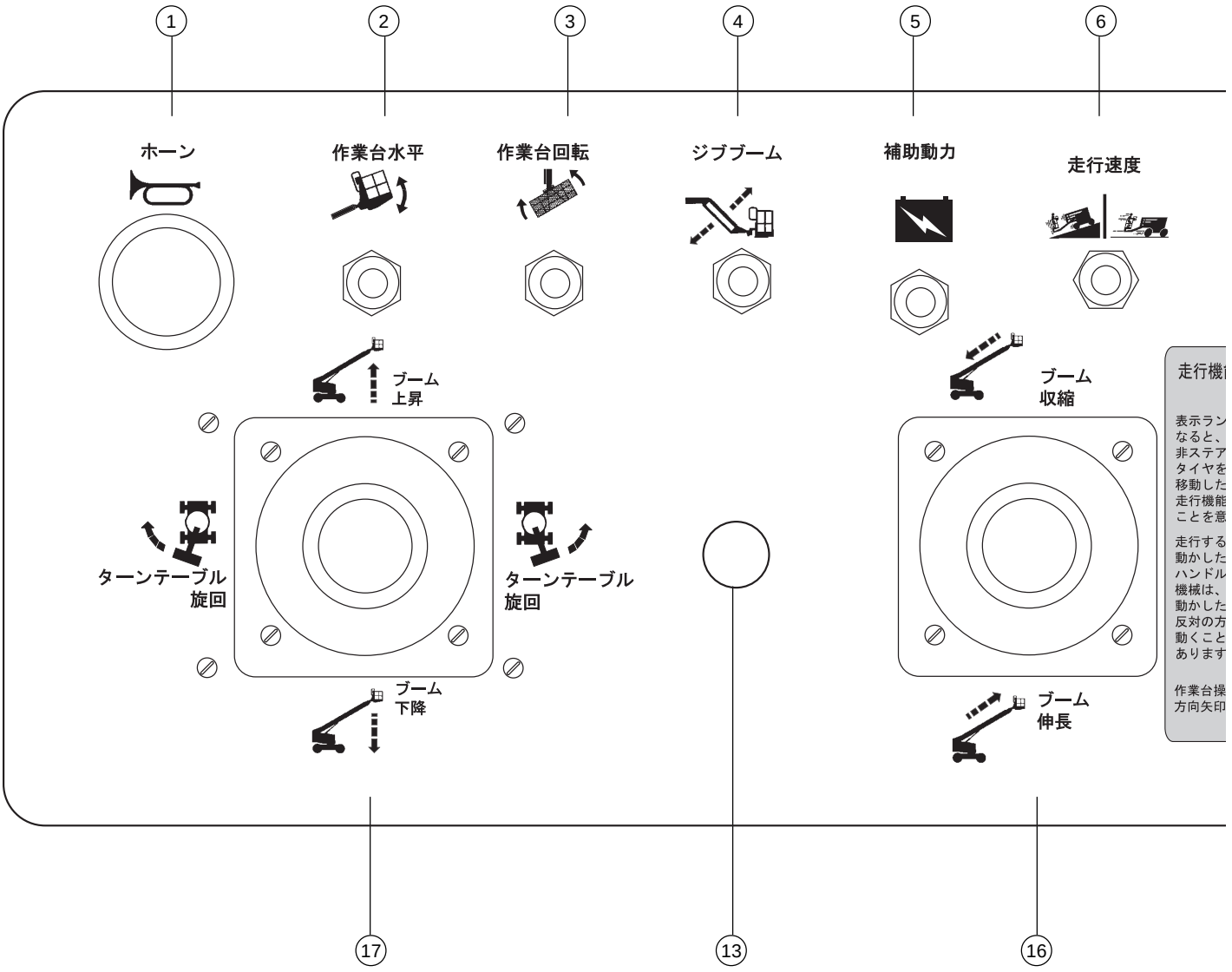
操作



地上操作パネル

1 作業台回転スイッチ
2 ターンテーブル旋回スイッチ
3 ブーム上昇/下降スイッチ
4 ブーム伸長/収縮スイッチ
5 未使用
6 作業台/OFF/地上 セレクトキースイッチ
7 補助動力スイッチ
8 ガソリン/LPG モデル：水温計
Deutz ディーゼルモデル：油温計
9 油圧計
10 電圧計
11 非常停止ボタン
12 タイマー
13 ガソリン/LPG モデル：チェックエンジンランプ
Deutz ディーゼルモデル：グロープラグスイッチ (オプション)
14 機能スイッチ
15 エンジン始動ボタン
16 15A エンジン電気回路ブレーカー
17 ガソリン/LPG セレクトスイッチ：
18 15A 制御電気回路ブレーカー
19 S-65 のみ：ジブブーム上昇/下降スイッチ
20 作業台レベルスイッチ

操作



作業台操作パネル

1 点検ホーンボタン

2 作業台レベルスイッチ

3 作業台回転スイッチ

4 S-65 のみ：ジブブーム上昇/下降スイッチ

5 補助動力スイッチ

6 走行速度セレクトスイッチ

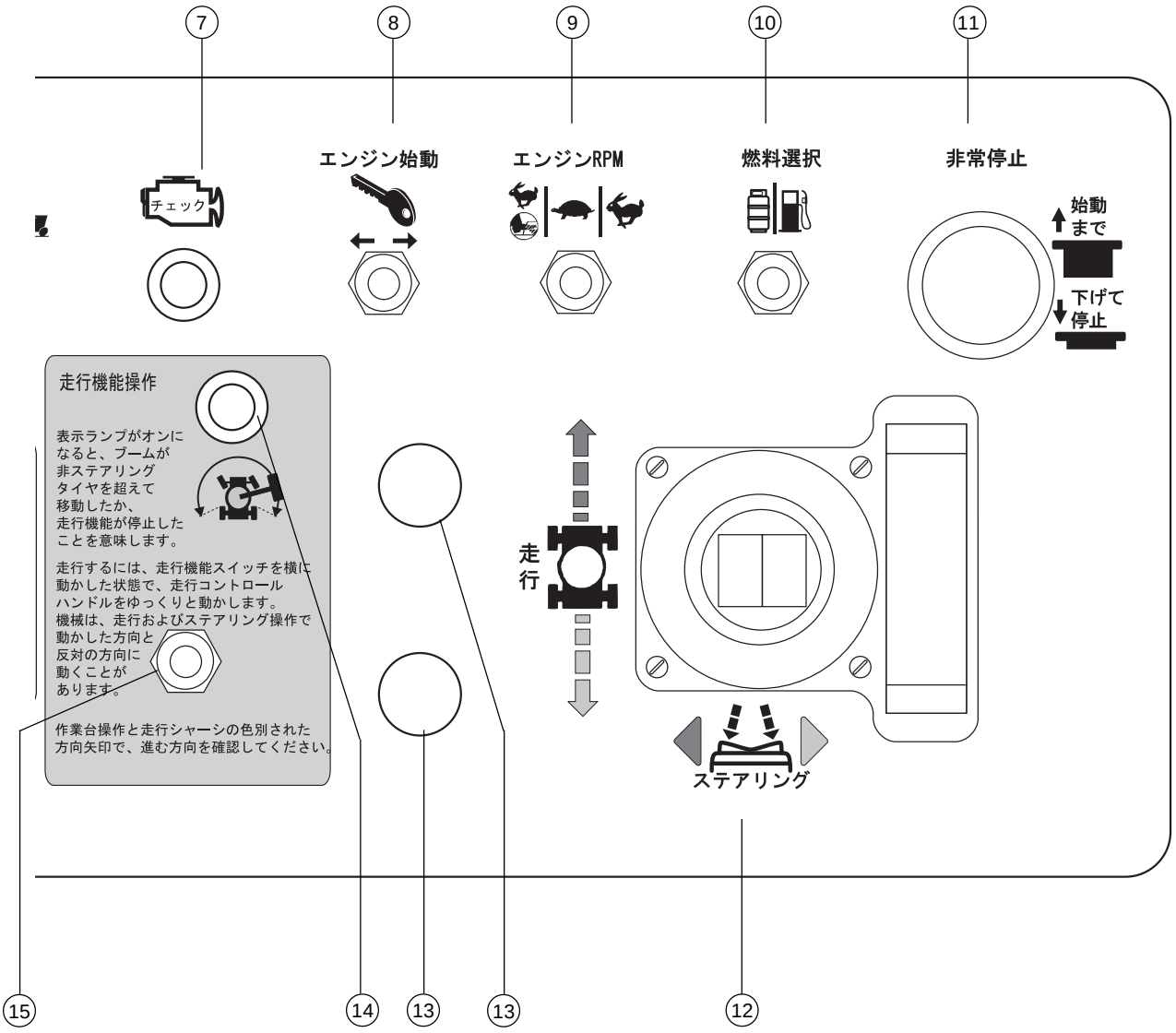
7 チェックエンジンランプ

8 エンジン始動ボタン

9 エンジンアイドル（rpm）セレクトスイッチ
- ウサギ&ペダルスイッチ
  ペダルスイッチ作動：ハイアイドル
- カメ：ローアイドル
- ウサギ：ハイアイドル

10 ガソリン/LPG モデル：ガソリン/LPG セレクトスイッチ
Deutz ディーゼルモデル：グロープラグスイッチ（オプション）

操作



11 非常停止ボタン

12 走行機能用比例コントロールハンドルとステアリング機能用ロッカー

13 オプション機材に使用

14 走行機能表示ランプ

15 走行機能スイッチ

16 ブーム伸長/収縮用比例コントロールハンドル

17 ブーム上昇/下降およびターンテーブル左右旋回機能用、ダブル軸比例コントロールハンドル

操作前の点検



以下の場合を除いて操作は行わないでください：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施している。

1 危険な状態での使用を避けている。

2 常に操作前の点検を行っている。

次のセクションに移る前に上記事項をよく理解している。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用している。

原 則

操作前の点検と規定の安全確認作業はオペレータが責任をもって行ってください。

操作前の点検とは、シフトの前にオペレータが目で行う点検です。この点検は、オペレータが機能テストを行う前に、機械を目で点検して異常な箇所を見つけることを目的としています。

さらに操作前の点検によって、規定の安全処置が必要かどうかを決めます。この説明書に記載してある規定の安全確認項目のみオペレータによって行えます。

次ページのリストで、部品が交換されていないか、損傷部品や、緩んでいたり欠けている部品がないかをチェックしてください。

故障もしくは改造した機械は決して使用しないでください。もし、工場からの輸送状態によって損傷もしくは何らかの異変が発見されたら、機械に故障中の貼り紙をつけて使用を停止してください。

機械の修理は認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づき行ってください。修理が終了したら、オペレータは機能テストに移る前にここでも操作前の点検を行ってください。

定期的な安全点検は認定を受けたサービス担当者が製品仕様と責務マニュアルに記載されている要項に基づいて行ってください。

操作前の点検

- オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、文字が読める状態で、作業台の保管場所に保管されているようにしてください。
- すべてのステッカーは、文字が読める状態で、所定の位置にあるか確認してください。ステッカーのセクションを参照してください。
- エンジンオイル漏れがないこと、オイルが適量であることを確認してください。必要であればオイルを足してください。安全確認のセクションを参照してください。
- 油圧オイル漏れがないこと、オイルが適量であることを確認してください。必要であればオイルを足してください。安全確認のセクションを参照してください。
- エンジン冷却液漏れがないこと、冷却液が適量であることを確認してください。必要にであれば冷却液を足してください。 保守のセクションを参照してください。
- バッテリー液漏れがないこと、バッテリー液が適量であることを確認してください。必要であれば蒸留水をいれてください。安全確認のセクションを参照してください。
- タイヤの空気圧は適切かどうかチェックしてください。必要ならば空気を入れてください。安全確認のセクションを参照してください。

以下の部品もしくは部分が損傷している、変更されている、また、きちんと設置されていなかったりなくなっている部品がないかどうかをチェックしてください。

- 電気部品、配線、電気ケーブル
- 油圧ホース、取付部品、シリンダー、マニフォールド
- 燃料と油圧タンク
- 走行と、ターンテーブルモータと走行ハブ
- ブーム磨耗板
- タイヤとホイール
- エンジンと関連部品
- リミット・スイッチと警報
- アラームとビーコン（ついている場合）
- ナット、ボルト、他の締め具
- 作業台出入口中間レールまたはゲート

機械全体をとおして下記をチェックしてください：

- 溶接や機械部品の割れ
- 機械のへこみと故障
- 機械を構成しているどの部品も欠けておらず、適合するファスナーやピンが正しい位置にしっかりと締められた状態にしてください。
- 点検が終了した後、コンパートメントのカバーがしっかりとしめられ、ラッチで留められていることを確認してください。

安全確認



必ず従うこと：

☑ オペレータはこの説明書に記載されている、通常の安全確認のみ行います。

☑ 定期安全確認点検は、認定を受けたサービス担当者が製品仕様と責務マニュアルに記載している要項に基づいて行ってください。

安全確認記号の説明

注意 下のシンボルは、指示の意図を伝えるために使用されています。安全確認手順のはじめに１つ以上のシンボルがあらわれる場合は、次を意味しています。



この手順を行うために、道具が必要です。



この手順を行うために、新たな部品が必要です。



この手順を行うために、エンジンは冷えている必要があります。

エンジンオイル量の点検



エンジンオイル量を適切なレベルにしておくことは、エンジンを高性能に保ち、長持ちさせるために、きわめて重要です。不適切なオイル量で機械を操作すると、エンジンの部品が損傷するおそれがあります。

注意 オイル量のチェックはエンジンを止めてから行ってください。

1 オイル計量棒をチェックしてください。

ガソリン/LPG エンジン： エンジンの隔壁側にあるベルハウジングの上部に位置します。

ディーゼルエンジン：エンジンオイルフィルターの近くにあるエンジンブロックの上に位置します。

⊙ 結果：オイル量は、計量棒が満タンのマークをさしているようにしてください。必要に応じてオイルを足してください。

Ford LRG-425 EFI エンジン オイル容量（フィルターを含む）	4.3 リットル

要求される油粘性	
15.5℃以下	5W-30
-23℃～32℃	5W-30
-23℃以上	5W-30
-4℃以上	10W-30

API サービス分類の SH もしくは SG 品質のオイルを使用してください。
ユニットは 10-40 CC/SG 付きで出荷されます。

Deutz F4L 1011F エンジン オイル容量（フィルターを含む）	10.5 リットル
要求される油粘性	
15.5℃以下（化学合成オイル）	5W-30
-23℃～32℃	10W-40
-34℃以上	15W-40

エンジンオイルは、API サービス分類の CC/SE もしくは CC/SF の品質でなければなりません。
ユニットは 10-40 CC/SG 付きで出荷されます。

Perkins 704-30 エンジン オイル容量（フィルターを含む）	9 リットル
要求される油粘性	
15.5℃以下	15W-40
-23℃～32℃	10W-30
-34℃以上	15W-40

エンジンオイルは、API サービス分類の CF4 の品質でなければなりません。
ユニットは 10-40 CC/SG 付きで出荷されます。

油圧オイルの量の点検



オイルの量を適切なレベルにしておくことは機械操作にとって非常に重要です。オイルの量が適切でないと油圧部品に損傷を与えることがあります。点検担当者はオイルの量を毎日チェックすることにより、オイルの量に変化がある場合には油圧システムでの問題を見つけることができます。

1 ブームが収容位置にあることを確認し、作動油タンクの横にある照準ゲージを目で見て点検してください。必要に応じてオイルを足してください。

⊙ 結果：オイル量は、照準ゲージより５㎝ 以内でなければなりません。

オイルの仕様	
タイプ	Dexron またはそれに相当するオイル
タンク容量	170 リットル
油圧システム（タンクを含む）	201 リットル

安全確認

エンジン冷却液量をチェック—液体冷却モデル



エンジン冷却液の量を適切なレベルにしておくことはエンジンを長持ちさせるのに非常に重要です。不適切な冷却液量は、エンジンの冷却能力に影響し、エンジンの部品が損傷するおそれがあります。点検担当者は冷却液の量を毎日チェックすることにより、冷却液の量に変化がある場合には冷却システムでの問題を見つけることができます。

⚠ 要注意 熱傷の危険 熱くなったエンジン部分や冷却液に注意してください。熱くなったエンジン部分もしくは冷却液に触れると、ひどい火傷を負うことがあります。

1 冷却液回収タンク内の液量をチェックしてください。必要に応じて液を足してください。

⊙ 結果 : 液の量は、**満タン**のマークをさしているようにしてください。

注意 ラジエーターのキャップを取り外さないでください。

バッテリーの点検



機械の安全操作にはバッテリーが適切な状態になっていることが重要です。適切でない液量、あるいはケーブルまたは接続の損傷は、部品の故障につながり、危険な状態を招くおそれがあります。

⚠ 警告 感電の危険。熱くなっている回線やライブ回線を触った場合は、重傷を負ったり死亡事故につながることがあります。指輪、時計、その他の貴金属を全て外してください。

⚠ 警告 人体への障害の危険。バッテリーには酸が入っています。バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れないようにしてください。バッテリーの酸がこぼれた場合は重曹と水を使って中性にします。

1 保護服と保護用メガネを着用してください。

2 バッテリーケーブルが腐食していないか確認してください。

3 バッテリーの装着とケーブルの接続がきちんとなされているか確認してください。

4 バッテリー通気孔のキャップをとってください。

5 バッテリーの酸の量をチェックしてください。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を入れてください。このときに溢れないようにしてください。

6 バッテリー通気孔のキャップをつけてください。

注意 端子プロテクターや腐食防止剤を使用することによって、バッテリー端子やケーブルの腐食の防止に役立ちます。

タイヤ空気圧をチェック

注意 この手順は、フォームタイヤを装備している機械には必要ありません。

⚠ 警告 人体への障害の危険。過度に膨張したタイヤは爆発の危険があり、重傷を負ったり死亡事故につながることがあります。

⚠ 警告 転倒の危険。パンクしたタイヤを一時的に修理するための製品は使用しないでください。

機械の安定性を最大限に保ち、最適な条件のもとで機械を使用し、タイヤの消耗を最小限にするために、すべての空気タイヤが適切な圧力を保っていることが大変重要です。

1 各タイヤを空気圧計でチェックしてください。必要に応じて空気を入れてください。

タイヤ仕様	
タイヤサイズ	15-19.5NHS
圧力	5.86 バール

定期安全点検

定期安全点検は、本装置の安全操作トレーニングを受け認定された担当者が本説明書の手順にしたがって行わなければなりません。

下記の安全点検は、認定された人が記録および保存し、４年間保管します。

３ヶ月以上使用されていない機械は、再び使用する前に必ず四半期点検を行ってください。

スケジュール

定期安全点検には５つのタイプがあり、スケジュールに従って、毎日、３ヶ月ごと、半年ごと、１年ごと、２年ごとに行うものがあります。それぞれの定期点検の内容に合わせて、**安全点検表**と**安全点検レポート**は５つのセクション（A、B、C、D、E）に分かれています。定期安全点検のどの手順を行うか、次の表を参考にしてください。

点検	表またはチェックリスト
毎日もしくは 8 時間ごと	A
3 ヶ月もしくは 250 時間ごと	A + B
6 ヶ月もしくは 500 時間ごと	A + B + C
1 年もしくは 1,000 時間ごと	A + B + C + D
2 年もしくは 2,000 時間ごと	A + B + C + D + E

安全点検レポート

安全点検レポートには、それぞれのタイプの定期安全点検のチェックリストが含まれます。

安全点検レポートをコピーして、各定期安全点検に利用してください。安全点検の書類はすべて３年間保存してください。

機能テスト



以下の場合を除いて操作は行わないでください：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施している。

1 危険な状態での使用を避けている。

2 常に操作前の点検を行っている。

3 使用する前に常に機能テストを行っている。

次のセクションに進む前に、機能テストをよく理解している。

4 作業場を点検している。

5 決められた用途にのみ機械を使用している。

原 則

機能テストは、機械を使用する前に故障を見つけることを目的としています。オペレータは、指示された手順に従って、すべての機能をテストしてください。

故障している機械は決して使用しないでください。誤作動が見つかった場合は、故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。機械の修理は認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づき行ってください。

修理が終了したら、オペレータは機械を使用する前に再び操作前の点検、続いて機能テストを行ってください。

1 障害物がなく、水平で安定している場所でテストを行ってください。

地上操作時

2 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

3 赤い非常停止ボタンを引いてオンにします。

⊙ 結果：ビーコンが点滅します。（ついている場合）

4 エンジンを始動してください。（操作手順のセクションを参照してください。）

非常停止のテスト

5 赤い非常停止ボタンを押して**オフ**にします。

⊙ 結果：エンジンが止まり、どの機能も作動しません。

6 赤い非常停止ボタンを引いて**オン**にし、エンジンを再始動します。

機械の機能をテスト

7 機能作動スイッチを、どちら側にも押したままにしないでください。ブームと作業台の各機能トグルスイッチの作動を試みてください。

⊙ 結果：ブームと作業台の**どの機能も作動しません。**

8 機能作動スイッチをどちらか一方の側に押したままにし、ブームと作業台の各機能トグルスイッチの作動を試みてください。

⊙ 結果：ブームと作業台のすべての機能がフルサイクル作動します。ブームが下がっているときには下降アラームが鳴ります。（ついている場合）

作業台水平制御解除機能付きの機械：ブームが走行速度リミットスイッチを過ぎて上昇もしくは伸長した場合は、作業台水平トグルスイッチは作動しません。

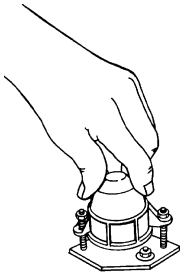
傾斜センサーのテスト

9 赤い地上非常ボタンを引いてオンにします。キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

10 タンク側のターンテーブルカバーを開いて、操作ボックスの横の傾斜センサーを見つけてください。

11 傾斜センサーの片側を下に押してください。

⊙ 結果：作業台のアラームが鳴ります。



補助制御のテスト

12 キースイッチを回して地上操作に切り替え、エンジンを停止します。

13 赤い非常停止ボタンを引いて**オン**にします。

14 補助動力スイッチをオンにしたまま、各ブーム機能トグルスイッチを作動させてください。

注記：バッテリー電力を一定に保つために、各機能を部分的なサイクルでテストしてください。

⊙ 結果：すべてのブーム機能が作動します。

作業台操作時

非常停止テスト

15 キースイッチを回して作業台操作に切り替え、エンジンを再始動します。

16 赤い作業台非常停止ボタンを押してオフにします。

⊙ 結果：エンジンが止まり、どの機能も作動しません。

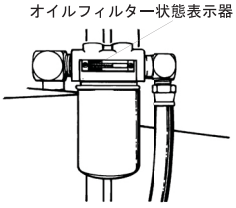
17 赤い非常停止ボタンを引いて、エンジンを再始動します。

油圧オイル回収フィルターのテスト

18 エンジンアイドル・セレクトスイッチを、ハイアイドル（ウサギシンボル）側に押す。

19 オイルフィルター状態表示器をチェックします。

⊙ 結果：プランジャーが緑の位置にある状態で、フィルターが作動します。



20 エンジンアイドル・セレクトスイッチを、ペダルスイッチ側に押し、ハイアイドルを作動させます。（ウサギ、ペダルスイッチシンボル）

ホーンのテスト

21 ホーンボタンを押します。

⊙ 結果：ホーンが鳴ります。

ペダルスイッチのテスト

機能テスト

22 作業台非常停止ボタンを押して**オフ**にします。

23 非常停止ボタンを引いてオンにします。エンジンは始動させないでください。

24 ペダルスイッチを押し、スタートトグルスイッチをどちらか片側に動かして、エンジンの始動を試みてください。

⊙ 結果 : エンジンは**作動しません**。

25 ペダルスイッチを押して、エンジンを再始動しないでください。

26 リフト/走行・セレクトスイッチをリフトの位置に動かします。（ついている場合）

27 ペダルスイッチを押さないでください。機械の各機能をテストしてください。

⊙ 結果 : 機械の機能は**作動しません**。

機械機能のテスト

28 リフト/走行・セレクトスイッチをリフトの位置に動かします。（ついている場合）

29 ペダルスイッチを押してください。

30 各機械機能コントロールハンドルもしくはトグルスイッチを作動してください。

⊙ 結果 : すべてのブームもしくは作業台機能がフルサイクルで作動します。

作業台水平制御解除機能付きの機械：ブームが走行速度リミットスイッチを過ぎて上昇もしくは伸長した場合は、作業台水平トグルスイッチは作動しません。

ステアリングのテスト

31 リフト/走行・セレクトスイッチを走行の位置に動かします。（ついている場合）

32 ペダルスイッチを押してください。

33 走行コントロールハンドルの先端にあるロッカースイッチを、操作パネルの青い三角の示す方向に押し下げてください。

⊙ 結果 : ステアリング・ホイールが走行シャーシ上の青い三角が示す方向に回ります。

34 ロッカースイッチを、操作パネルの黄色い三角の示す方向に押し下げてください。

⊙ 結果 : ステアリング・ホイールが走行シャーシ上の黄色い三角が示す方向に回ります。

走行ブレーキのテスト

35 リフト/走行・セレクトスイッチを走行の位置に動かします。（ついている場合）

36 ペダルスイッチを押してください。

37 走行コントロールハンドルを操作パネルの青い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻してください。

⊙ 結果 : 機械が走行シャーシの青い矢印の方向に動き、不意に止まります。

38 走行コントロールハンドルを操作パネルの黄色い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻してください。

⊙ 結果 : 機械が走行シャーシの黄色い矢印の方向に動き、不意に止まります。

注記：上ることのできる斜面のどの位置においても、ブレーキは機械を止められなければなりません。

機能テスト

振動軸のテスト（ついている場合）

39 リフト/走行・セレクトスイッチを走行の位置に動かします。（ついている場合）

40 作業台操作でエンジンを始動してください。

41 右のステアリングタイヤを、15 cm のブロックもしくは縁石に乗せます。

⊙ 結果：他の３つのタイヤは、地上としっかり接触しています。

42 左のステアリングタイヤを、15 cm のブロックもしくは縁石に乗せます。

⊙ 結果：他の３つのタイヤは、地上としっかり接触しています。

43 両方のステアリングタイヤを、15 cm のブロックもしくは縁石に乗せます。

⊙ 結果：非ステアリングタイヤは、地上にしっかり接触しています。

走行機能システムのテスト

44 リフト/走行・セレクトスイッチをリフトの位置に動かします。（ついている場合）

45 ペダルスイッチを押し、ブームを収納位置まで下げてください。

46 ターンテーブルを、非ステアリングタイヤのひとつを超えるまで旋回してください。

⊙ 結果：走行機能表示ランプが点灯し、ブームが示された範囲にある間点灯し続けます。



47 リフト/走行・セレクトスイッチを走行の位置に動かします。（ついている場合）

48 走行コントロールハンドルを中心の位置から動かします。

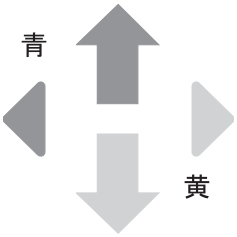
⊙ 結果：走行機能は**作動しません**。

49 走行機能トグルスイッチをどちらか一方の側に動かしてそのままにし、走行コントロールハンドルをゆっくりと中心の位置から動かします。

⊙ 結果：走行機能が作動します。

注記：走行機能システムが使用されているとき、機械は、走行およびステアリングコントロールハンドルが動かされた反対の方向に動くことがあります。

作業台操作と走行シャーシの色別された方向矢印で、進む方向を確認してください。

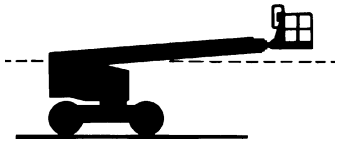


制限走行速度のテスト

50 リフト/走行・セレクトスイッチをリフトの位置に動かします。（ついている場合）

51 ペダルスイッチを押してください。

52 ブームを水平より少し高く上げてください。



53 リフト/走行・セレクトスイッチを走行の位置に動かします。（ついている場合）

54 ゆっくりと走行コントロールハンドルをフル走行の位置に動かしてください。

⊙ 結果：ブームが上昇した状態での最大走行速度は 0.3 m/秒を越えることはありません。

機能テスト

55 リフト/走行・セレクトスイッチをリフトの位置に動かします。（ついている場合）

56 ブームを収納位置まで下げてください。

57 ブームを 30 cm 伸長してください。

58 リフト/走行・セレクトスイッチを走行の位置に動かします。（ついている場合）

59 ゆっくりと走行コントロールハンドルをフル走行の位置に動かしてください。

⊙ 結果：ブームを伸長した状態での最大走行速度は 0.3 m/秒を越えることはありません。

もしブームが上昇もしくは伸長した状態で走行速度が 0.3 m/秒を超えた場合、直ちに、故障中の貼り紙をつけて機械の使用を中止してください。

補助制御のテスト

60 エンジンを停止してください。

61 赤い非常停止ボタンを引いて**オン**にします。

62 ペダルスイッチを押してください。

63 リフト/走行・セレクトスイッチをリフトの位置に動かします。（ついている場合）

64 補助動力スイッチをオンにしたまま、各機能コントロールハンドルもしくはトグルスイッチの作動を試みてください。

注記：バッテリー電力を一定に保つために、各機能を部分的なサイクルでテストしてください。

⊙ 結果：すべてのブームおよびステアリング機能が作動します。走行機能は、補助動力では作動しません。

リフト/走行セレクトスイッチのテスト（ついている場合）

65 リフト/走行・セレクトスイッチをリフトの位置に動かします。

66 ペダルスイッチを押してください。

67 走行コントロールハンドルを中心の位置から動かします。

⊙ 結果：走行機能はまったく作動しません。

68 各ブーム機能トグルスイッチを作動させます。

⊙ 結果：すべてのブーム機能が作動します。

69 リフト/走行・セレクトスイッチを走行の位置に動かします。

70 ペダルスイッチを押してください。

71 各ブーム機能トグルスイッチを作動させます。

⊙ 結果：ブーム機能はまったく作動しません。

72 走行コントロールハンドルを中心の位置から動かします。

⊙ 結果：走行機能が作動します。

73 機械を操作する前に、すべての故障個所の修理を行ってください。

作業場の点検



以下の場合を除いて操作は行わないでください：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施している。

1 危険な状態での使用を避けている。

2 常に操作前の点検を行っている。

3 使用前に常に機能テストを行っている。

4 作業場を点検している。

次のセクションに進む前に、作業場の点検についてよく理解している。

5 決められた用途にのみ機械を使用している。

原 則

作業場の点検によって、オペレータは作業場が安全な機械操作に適しているかどうかを決めることができます。作業場の点検は、作業場に機械を移動する前に行わなければなりません。

オペレータは作業場で起こる可能性のある危険を認識し、機械の移動、セットアップ、運転時に気を配り危険を回避してください。

作業場の点検

次の危険な状態を意識し、避けてください。

- 急に低くなっているところ、くぼみ
- でこぼこした道、床の障害物もしくは破片
- 頭上の障害物、高圧送電線
- 危険な場所
- 機械の重量に耐えられない地面の状態
- 風や天候の状態
- 関係作業員以外の存在
- その他起こる可能性のある危険な状態

操作手順

以下の場合を除いて操作は行わないでください：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施している。

1 危険な状態での使用を避けている。

2 常に操作前の点検を行っている。

3 使用前に常に機能テストを行っている。

4 作業場を点検している。

5 決められた用途にのみ機械を使用している。

原 則

操作手順のセクションでは、それぞれの機械操作の特徴ごとに手順を説明しています。安全規則やオペレータの安全・責務マニュアルの手順に従うことはオペレータの任務です。

人や工具を空中の作業場まで上げる目的以外で機械を使用することは危険です。

トレーニングを受け認定されたオペレータのみ機械を操作することが許されています。２人以上のオペレータが同じ勤務時間内で異なる時間帯に機械を使用する場合、すべてのオペレータが資格を有し、安全規則やオペレータの安全・責務マニュアルの手順に従がわなければなりません。すなわち、オペレータが交替するたびに、次のオペレータが機械の操作前に、操作前点検、機能テスト、作業場点検を行う必要があります。

エンジンの始動

1 地上操作で、キースイッチを希望する位置に回してください。

2 地上操作と作業台操作の両方の赤いコントロール非常停止ボタンが引かれ、オンの位置にあることを確認してください。

3 ガソリン/LPG モデル：燃料セレクトスイッチを希望する位置に動かして、燃料を選択してください。



4 エンジン始動トグルスイッチをどちらか一方の側に動かしてください。もしエンジンが始動できないもしくは停止した場合、再始動遅延機能によって３秒間始動できなくなります。

もし 15 秒間のクランクの後エンジンがスタートしない場合、原因を確定し、すべての故障の修理を行ってください。もう一度始動を試みる前に、60 秒間待ってください。

すべてのモデル：-6℃ 以下の極寒の状況では、油圧システムの損傷を防ぐため５分間エンジンを温めてください。

ガソリン/LPGモデル：-6℃ 以下の極寒の状況では、エンジンをガソリンで始動し、その後 LPG に切り替えてください。

非常停止

地上もしくは作業台の赤い非常停止ボタンを押してオフの位置にし、すべての機能とエンジンを停止してください。

非常停止ボタンが押されている状態で作動している機能は修理してください。

地上操作が選択され操作されると、作業台の非常停止ボタンは無視されます。

補助制御

もし主要電源（エンジン）が停止した場合は、補助動力を使用してください。

1 キースイッチを回して地上もしくは作業台操作に切り替えます。

2 赤い非常停止ボタンを引いてオンにします。

3 作業台から補助制御を操作する場合は、リフト/走行・セレクトスイッチをリフトの位置に動かします。（ついている場合）

4 作業台から補助制御を操作する場合は、ペダルスイッチを押してください。

5 補助動力スイッチを**オン**にしたまま、希望する機能を作動させてください。

走行機能は、補助動力では作動しません。

地上からの操作

1 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

2 赤い非常停止ボタンを引いて**オン**にします。

3 ガソリン/LPG モデル：燃料セレクトスイッチを希望する位置に動かして、燃料を選択してください。

4 エンジンを始動させてください。

作業台を位置につける

1 機能作動スイッチを、どちらか一方の側に押したままにしてください。

2 操作パネルのマークに従って、適切なトグルスイッチを動かします。

走行およびステアリング機能は地上操作では操作できません。

作業台水平制御解除機能付きの機械：ブームが走行速度リミットスイッチを過ぎて上昇もしくは伸長した場合は、作業台水平トグルスイッチは作動しません。

作業台からの操作

1 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

2 地上操作と作業台操作の両方の赤い非常停止ボタンを引いてボタンをオンの位置にします。

3 ガソリン/LPG モデル：燃料セレクトスイッチを希望する位置に動かして、燃料を選択してください。

4 エンジンを始動させてください。エンジンが始動しているとき、ペダルスイッチを押さないでください。

作業台を位置につける

1 リフト/走行・セレクトスイッチをリフトの位置に動かします。（ついている場合）

2 ペダルスイッチを押してください。

3 操作パネルのマークに従って、操作パネル上の適切な機能コントロールハンドルもしくはトグルスイッチをゆっくりと動かします。

作業台水平制御解除機能付きの機械：ブームが走行速度リミットスイッチを過ぎて上昇もしくは伸長した場合は、作業台水平トグルスイッチは作動しません。

ステアリング

1 リフト/走行・セレクトスイッチを走行の位置に動かします。（ついている場合）

2 ペダルスイッチを押してください。

3 ステアリングホイールを走行コントロールハンドルの先端にあるロッカースイッチで回します。

作業台操作と走行シャーシの色別された方向矢印で、タイヤの曲がる方向を確認してください。

操作手順

走行

1 リフト/走行・セレクトスイッチを走行の位置に動かします。（ついている場合）

2 ペダルスイッチを押してください。

3 速度を上げる：走行コントロールハンドルを中心の位置からゆっくり動かします。

速度を下げる：走行コントロールハンドルを中心へ向かってゆっくり動かします。

停止する：走行コントロールハンドルを中心の位置へ戻すか、ペダルスイッチを解除します。

作業台操作と走行シャーシの色別された方向矢印で、機械の進む方向を確認してください。

ブームが上がった状態では走行スピードは制限されています。

走行機能

表示ランプが**オン**になると、ブームが非ステアリングタイヤを超えて移動したか、または、走行機能が妨げられたことを意味します。

走行するには、走行機能スイッチをどちらか一方の側に動かしてそのままにし、走行コントロールハンドルをゆっくりと中心の位置から動かします。

機械は、走行およびステアリングコントロールが動かされた方向と反対の方向に動くことがあります。

常に、作業台操作と走行シャーシの色別された方向矢印で、機械の進む方向を確認してください。

発電機

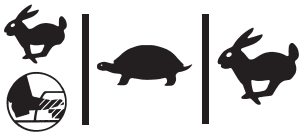
発電機を操作するには、発電機トグルスイッチを発電機の位置に動かしてください。エンジンは作動し続けますが、走行もしくは作業台機能は作動しません。

電動工具は、作業台の GFCI ソケットにつないでください。

機能を再開させるには、発電機トグルスイッチを機械機能の位置に動かしてください。すべての機能が作動します。

エンジンアイドルセレクト（rpm）

操作パネル上のシンボルで、エンジンアイドル(rpm)を選択してください。



・ウサギおよびペダルスイッチのシンボル：ペダルスイッチによりハイアイドルを作動

・ カメシンボル：ローアイドル

・ ウサギシンボル：ハイアイドル

エンジンランプをチェック（ついている場合）

ランプが点灯し、エンジンが停止した：故障中の貼り紙をつけて機械の使用を中止してください。

ランプがつき、エンジンがまだ作動している：24 時間以内にサービスに連絡してください。

エンジンを停止

赤い非常停止ボタンを押し、キースイッチを回してオフの位置にします。

毎回使用後

1 固い水平な地面で、物の破片や人や車の往来のない、安全な格納場所を選んでください。

2 ブームを収縮し、収納位置まで下げてください。

3 ターンテーブルを、ブームが非ステアリングタイヤの間にくるように旋回させてください。

4 キースイッチをオフの位置に回し、関係者以外による使用をさけるためキーを取り外してください。

5 輪止めをかましてください。

輸送手順

必ず従うこと：

- ☑ 輸送車両は水平な地面に駐車してください。
- ☑ 機械を載せているときは、輸送車両が動かないよう固定してください。
- ☑ 車両の容量、積載位置、ストラップもしくはひもが機械の重量に耐えうる十分なものであることを確認してください。仕様のセクションを参照してください。

輸送用トラックまたはトレーラーへの固定

機械を輸送するときは、常にターンテーブル旋回ロックピンを使用してください。

輸送する場合は必ず前もって機械に輸止めをかましてください。

シャーシの荷締め位置を使って輸送車両へ固定ください。

左右に動かないよう、ブームの端と作業台の間にある低い方の作業台マウントを使用してください。ブームを固定するときは、下方へ過度に力を加えないでください。

積載荷重量に対して余裕のあるチェーンやストラップを使用してください。

輸送の前にキースイッチをオフの位置に回し、キーを取り外してください。

ゆるんでいたり、固定されていない箇所がないかどうか点検してください。

ウィンチ用のフリーホイール構成

機械が動かないよう輸止めをかましてください。

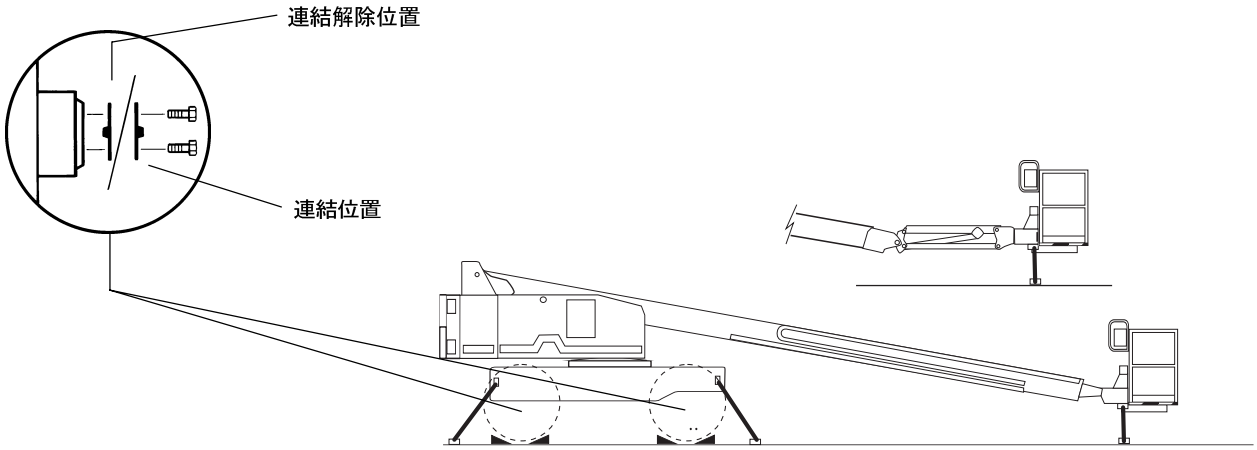
2WDモデル：トルクハブをひっくり返し、キャップを取り外して、非ステアリングタイヤブレーキを解除してください。（下記を参照してください。）

4WD モデル：４つのトルクハブをひっくり返し、キャップを取り外して、タイヤブレーキを解除してください。（下記を参照してください。）

シャーシの荷締め箇所の移動のためにウィンチラインがしっかりと固定され、軌道に障害物が無いことを確認してください。

逆の手順で再びブレーキをかけます。

注記：ポンプフリーホイールバルブは常に閉められていなければなりません。



ステッカー

ステッカーの点検

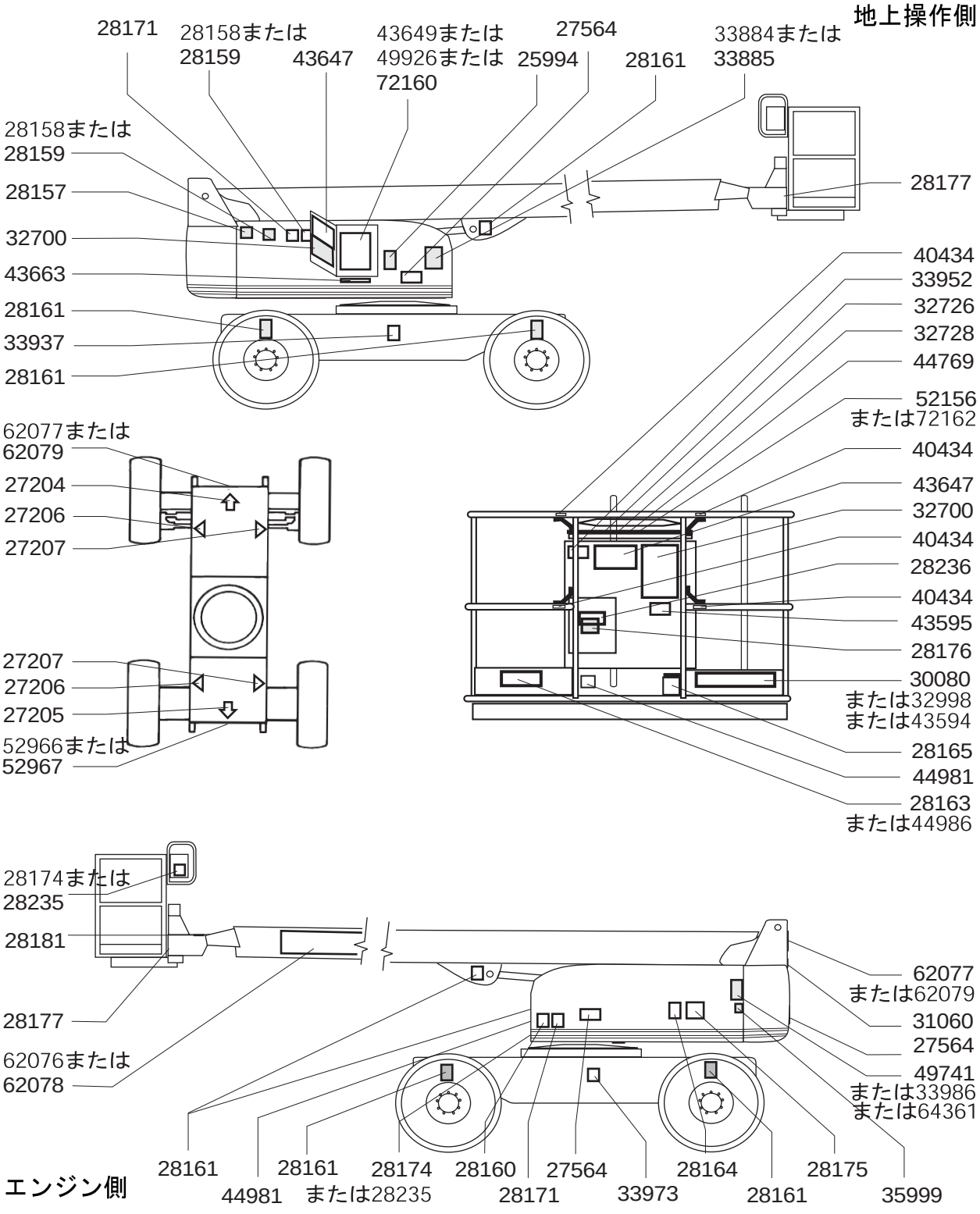
次ページの絵を見て、ステッカーの文字が読める状態で所定の位置に貼ってあるかどうかを確認してください。

下記は、番号順に並べられたステッカーの数量と詳細のリストです。

品番	ステッカーの説明	数量
25994JA	要注意 – 部品の損傷の危険	1
27204	矢印 – 青	1
27205	矢印 – 黄	1
27206	三角 – 青	2
27207	三角 – 黄	2
27564JA	危険 – 感電の危険	3
28157JA	ラベル – Dexron	1
28158JA	ラベル – 無鉛	2
28159	ラベル – ディーゼル	2
28160	ラベル – 液化石油ガス	1
28161JA	危険 – 落下の危険	7
28163JA	注意 – 最大側方圧力 – 68 kg	1
28164JA	注意 – 危険機材	1
28165JA	注意 – ペダルスイッチ	1
28171	ラベル – 禁煙	2
28174JA	ラベル – 作業台への電力 230V	2
28175JA	要注意 – コンパートメントへのアクセス	1
28176JA	注意 – 紛失した説明書	1
28177JA	警告 – 作業台回転	2
28181JA	警告 – 踏まないもしくは乗らない	1
28235JA	ラベル – 作業台への電力 115V	2
28236JA	警告 – 読むことを怠った…	1
30080JA*	注意 – 最大積載 227 kg	1
31060JA	危険 – 転倒の危険、インターロック	1
32700JA	危険 – 安全規則	2
32726JA	ラベル – グロープラグ（オプション）	1
32728JA	ラベル – 発電機（オプション）	1
32998JA*	注意 – 最大積載 272 kg	1
33884	シリアルプレート – S-60	1
33885	シリアルプレート – S-65	1
33952JA	危険 – 傾斜アラーム	1
33973JA	注意 – タイヤ空気圧	2
33986JA	注意 – Deutz ディーゼルエンジン仕様	1
35599JA	注意 – エアホースを整列	1
40434JA	ラベル – 荷締め用箇所	4
43594JA*	注意 – 最大積載 341 kg	1
43595JA	危険 – 転倒、タイヤ（フォームタイヤ）	1
43647JA	注意 – 操作手順	2
43649JA	地上操作パネル	1
43663JA	注意 – 機能作動	1
44769	リフト/走行・セレクト	1
44981JA	作業台への空気管	2
44986JA	注意 – 最大外圧力 – 41 kg	1
49741JA	注意 – Ford エンジン仕様 – LRG-425 EFI	1
49926JA	地上操作パネル	1
52156JA	作業台操作パネル	1
52966	化粧 – 4×2	1
52967	化粧 – 4×4	1
62076	化粧 – Genie S-60	1
62077	化粧 – S-60	1
62078	化粧 – Genie S-65	1
62079	化粧 – S-65	1
64361JA	注意 – Perkins ディーゼルエンジン仕様	1
72160JA	地上操作パネル	1
72162JA	作業台操作パネル	1

* 仕様のセクションもしくは２ページのチャートを参照し、機械の許容量を確定してください。

ステッカー


地上操作側
28171
28158または
28159
43647
43649または
49926または
72160
27564
25994
28161
33884または
33885
28177
28158または
28159
28157
32700
43663
28161
33937
28161
40434
33952
32726
32728
44769
52156
または72162
62077または
62079
27204
27206
27207
40434
43647
32700
40434
28236
40434
43595
28176
30080
または32998
または43594
27207
27206
27205
52966または
52967
28165
44981
28163
または44986
28174または
28235
28181
28177
62076または
62078
62077
または62079
31060
27564
49741
または33986
または64361
28161
44981
28161
または28235
28174
28160
28171
27564
33973
28164
28161
28175
35999
エンジン側

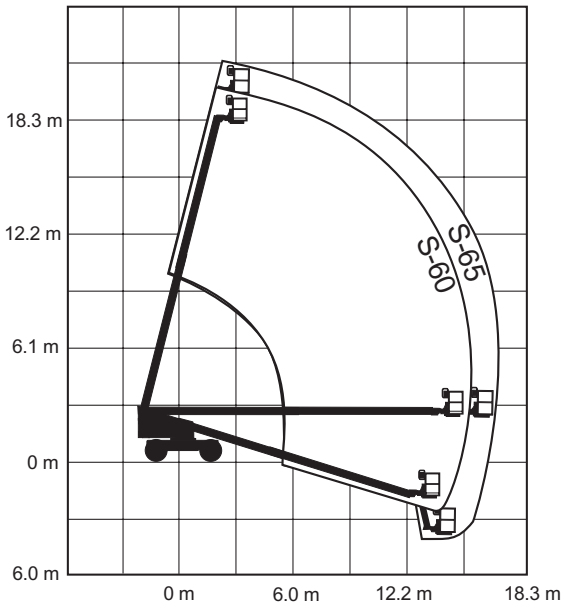
仕様

モデル	S-60	S-65
高さ、操作時 最大	20.1 m	21.6 m
高さ、作業台 最大	18.3 m	19.8 m
高さ、作業台収納時	2.74 m	2.74 m
水平リーチ最大長さ	15.6 m	17.2 m
幅	2.43 m	2.43 m
長さ、収納時	8.3 m	9.4 m
最大積載荷重 1.7 m 作業台	272 kg	227 kg
最大積載荷重 2.3 m 作業台	227 kg	227 kg
最大積載荷重 1.7 m 作業台、 フォームタイヤと適切な カウンターウェイト付属仕様	340 kg	—
ホイールベース	2.7 m	2.7 m
旋回半径（外径）	6.75 m	6.75 m
旋回半径（内径）	3.7 m	3.7 m
ターンテーブル旋回（度）		続き
ターンテーブルによる 後方車体の揺れ	100 cm	100 cm
電源（選択）	Ford 63 Hp ガソリン/LPG LRG-423 もしくは LRG-425 EFI Deutz 56 Hp ディーゼル F4L 1011	

走行速度	2WD	4WD
収納した状態での走行速度	7.1 km/時	4.8 km/時
ガソリン/LPG モデル	12.2 m/6.2 秒	12.2 m/9.1 秒
収納した状態での走行速度	6.4 km/時	4.5 km/時
Deutz ディーゼルモデル	12.2 m/6.8 秒	12.2 m/9.7 秒
走行速度、 上昇もしくは伸長時 —すべてのモデル	1.0 km/時 12.2 m/40 秒	1.0 km/時 12.2 m/40 秒

モデル	S-60	S-65
制御	12V DC 比例	
作業台寸法、1.7 m （長さ×幅）	1.8 m×76 cm	1.8 m×76 cm
作業台寸法、2.3 m （長さ×幅）	2.4 m×91 cm	2.4 m×91 cm
作業台水準化	自己水準化	自己水準化
作業台回転	160 度	160 度
作業台 AC コンセント	標準	標準
油圧（最大） （ブーム機能）	2600 psi 179 バール	2900 psi 200 バール
タイヤサイズ	15-19.5 NHS	15-19.5 NHS
収納した状態での登坂能力（2WD/4WD）		28%/40 %
最低地上高さ	30 cm	30 cm
油圧タンク容量	170 リットル	170 リットル
燃料タンク容量	114 リットル	114 リットル
重量	11,821 kg	12,882 kg
騒音 通常作業のワークステーションでの最大音量 （騒音レベル）		80 dB

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。製品の仕様は予告なく変更することがあります。



代理店：

Genie North America
電話 425.881.1800
フリー USA and Canada
ダイヤル 800.536.1800
ファックス 425.883.3475

Genie Holland
電話 +31 70 51 78836
ファックス +31 70 51 13993

Genie Scandinavia
電話 +46 31 3409612
ファックス +46 31 3409613

Genie France
電話 +33 (0)2 37 26 09 99
ファックス +33 (0)2 37 26 09 98

Genie Iberia
電話 +34 93 579 5042
ファックス +34 93 579 5059

Genie Germany
電話 +49 (0)4202 88520
ファックス +49 (0)4202 8852-20

Genie U.K.
電話 +44 (0)1476 584333
ファックス +44 (0)1476 584334

Genie Mexico City
電話 +52 55 5666 5242
ファックス +52 55 5666 3241

Genie Australia Pty Ltd.
電話 +61 7 3375 1660
ファックス +61 7 3375 1002

Genie China
電話 +86 21 53852570
ファックス +86 21 53852569

Genie Malaysia
電話 +60 4 228 1235
ファックス +60 4 226 6872

Genie Japan
電話 +81 3 3453 6082
ファックス +81 3 3453 6083

Genie Korea
電話 +82 2 558 7267
ファックス +82 2 558 3910

Genie Africa
電話 +27 11 455 0373
ファックス +27 11 455 0355

Genie Latin America
電話 +55 11 4055 2499
ファックス +55 11 4043 1661